

項目	書名 <h1 style="text-align: center;">美術</h1> <p style="text-align: right;">9 開隆堂</p>	
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○発達の段階に応じて系統的に構築された題材を設定するとともに、授業の目標、内容や方法、培いたい資質や能力を明確に整理して具体的に紙面に示し、教科の目標を達成するための工夫をしている。</p> <p>○美術で培った力を生活や社会に役立てることを明確に示して主体的な学びを促すとともに、日本及び諸外国の優れた美術文化を精選して提示し、感性を豊かにし、美術文化についての理解を深めるための工夫をしている。</p>	
特色	<p style="text-align: center;">内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○基礎的な技能や安全で効果的な道具の使い方についての知識、色彩についての理解などの表現を支える学びを、分かりやすく系統的に学習できるように巻末の「パレットコーナー」「工具箱」にまとめて提示し基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫をしている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○作者の言葉や、発想のヒントにより、豊かに発想し創意工夫することを促すとともに、技能の習得のみに偏らないよう、デザインのプロセスなど、発想や構想の方向性を重視して示す工夫をしている。</p> <p>○発展的、系統的な題材を効果的に配列し、題材間で関連する学習内容を明らかにし、生徒が既習内容を生かし、表現力を高めていける工夫をしている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○「学習の目的」と「学習の振り返り」により、生徒が授業展開に見通しをもって取り組み、自己評価する際は観点を得られ、主体的な学習の保証をしている。</p> <p>○生活に生かす視点、美術の学習が社会に役立つことを示す題材や資料が豊富に示され主体的な学習に取り組む態度を養う工夫をしている。</p> <p><よさや美しさなどを味わわせる工夫></p> <p>○「絵巻物の世界」では一部ページが逆に展開させ、絵巻物の見方やよさを味わうことができる工夫をしている。</p> <p>○「原寸ギャラリー」は、鑑賞のきっかけとなる言葉が示され、優れた日本の美術作品について生徒の気付きを促すとともに、質感や技法なども見取ることができ、様々なよさや美しさを味わわせる工夫をしている。</p>
	<p style="text-align: center;">資 料</p>	<p>○折り込みページの活用や大型図版の掲載、原寸大の作品の提示によって、鑑賞学習の充実を図ると共に、鑑賞学習の導入及びきっかけとなる「問いかけ」を設定し、鑑賞学習を重視した資料が充実している。</p> <p>○活動の情景を大きく紹介するなど、全ての生徒に学習したいという意欲がわいてくるよう、「わかりやすさ」に配慮した資料となっている。</p>
	<p style="text-align: center;">表記・表現</p>	<p>○題材名の下に活動のねらいを示し、全ての題材に共通して4観点の振り返りがページ右下に分かりやすく表示されている。</p> <p>○レイアウトに変化をもたせ、伝統文化やその作品の特徴を大切にしている。</p> <p>○生徒の言語感覚を大切に、生徒の心に語りかけて題材内容や用法をイメージできる文章表現になっている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインにより、色覚に多様性のある全ての生徒に対して内容の伝わりやすい配色や形状の工夫がされている。</p>
<p style="text-align: center;">総 括</p>	<p>○地域の実態に合わせて入手しやすい材料を扱ったり、地域の文化財や美術館といった学校外の資源も活用するなど、地域や学校の実態や特徴に合わせて学習できるように工夫されている。</p> <p>○全体を通して、生徒にとって見やすい、学びやすい表現や提示が貫かれ、美術科の目標を確実に達成することを目指した内容であることが特徴である。</p> <p>○「美術1」「美術2・3」それぞれの表紙から、美術の役割、美術を通して他人の気持ちを想像する大切さ、平和と美術を考えるきっかけ等「美術文化の学習を通して人間教育」のメッセージが伝えられている。</p>	

書名		美術		38
項目				光村
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり		<p>○学年の系統性を配慮して、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい、基礎となる資質や能力の定着を図れるように題材を配列している。</p> <p>○各巻冒頭に「うつくしさ」について考えるための詩、随所に「作者の言葉」、作品を原寸大で掲載する「原寸大で鑑賞しよう」により、美術を愛好する心情を育て、感性を豊かにするための工夫をしている。</p>		
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○巻末に技法や用具の扱い方を深める資料を掲載し、基礎的・基本的な能力を身に付けさせる工夫をしている。特に水彩、レタリング、陶芸、木彫などの技法についての資料が見やすく分かりやすく示されている。</p> <p>○鑑賞資料はアジアをはじめ様々な地域の作品を取り上げ、美術史資料が詳しく、社会科等、他教科と関連して知識を習得できる工夫をしている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「みんなの工夫」で作品づくりの過程を追い、主題の生成から試行錯誤を経て完成に至るまでの様子を示し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫をしている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○生徒の発達段階に合わせた問いかけや生徒の視点で設定された題材があり、意欲をかき立て、主体的に取り組む態度を養う工夫をしている。</p> <p>○「美術2・3」では、アンジェラ・アキ氏の詩とともに自画像の題材が紹介され、生徒の体験や生活に根ざして、また国語、音楽、道徳と関連させて学習できるよう工夫されている。</p> <p><よさや美しさなどを味わわせる工夫></p> <p>○日本武術の作品を多く掲載し伝統文化を尊重する一方、ICTを活用する活動、東日本大震災を受けての美術やデザインなど多様な資料を取り上げ、興味関心を高め、様々なよさや美しさ味わわせる工夫をしている。</p> <p>○「原寸大で鑑賞しよう」では、細部にわたり工夫を凝らした作者の心情や思いを想像して深く鑑賞できるよう工夫されている。</p>		
	資料	<p>○「美術1」では「風神・雷神像（三十三間堂）」と「風神雷神図屏風（俵屋宗達）」、アーサー・ビナード氏の詩を合わせて紹介されており、生徒が作品をじっくりと鑑賞し、創造力を働かせることのできる構成の資料である。</p> <p>○「美術2・3」「ゲルニカ（ピカソ作）」は谷川俊太郎氏の詩とともに紹介され、生活や社会との関わりの中で存在する美術について考える資料である。</p>		
	表記・表現	<p>○教科書の中に「目標、共通事項、ヒント、作者の言葉、生活に生かそう、国宝、コラム、安全注意、道徳、資料との関連など」の多様なマークがあり、美術科で学ぶ学習内容やねらい、伝統文化の尊重など多様な学びを感じ取れる工夫をしている。</p> <p>○色覚特性などが配慮され、全ての人を使いやすいユニバーサルデザインの観点に立った編修とデザインがされている。</p>		
総括		<p>○谷川俊太郎氏の「うつくしい！」の詩に象徴される、生徒の視点を大切にし、生徒作品や作品づくりの表情などが多数掲載された、授業で読み、鑑賞し、調べるなど十分活用できることをめざした機能的な内容である。</p> <p>○作品づくりの中で発想力・構想力・表現力を身に付けるだけでなく、生活や社会と関わる美術の働きを取り上げ、美術科での学びが学校だけでなく、暮らしや社会との関わりの中で生かされていることを実感できる内容となっている。</p> <p>○マークを使い学習のポイントを示し、生徒の発達段階に合わせた主体的な活動を支援している。</p>		

項目	書名 美術 116 日文	
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○豊富な美術作品と幅広い美術文化の紹介から、表現及び鑑賞の幅広い活動を支援し、美術を愛好する心情を育てる工夫が見られる。 ○生徒作品や作者の言葉から、イメージや表現、共感できる価値観など、生徒の主体的な創造活動を促す工夫をしている。 ○「道徳」との関連についてのマーク表記と説明があり、「美術」と「心の教育」を結び付ける工夫をしている。 	
特色	<p style="text-align: center;">内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○題材ごとに4観点の「学びのねらい」がわかりやすく示している。 ○資料図版やアイデアスケッチ、作品解説により、制作過程がわかりやすく紹介されている。 ○色彩や道具の使いなど、巻末資料に掲載することにより、基礎的・基本的な能力を身に付けさせる工夫をしている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○大きな紙面に多数の作品と作者の言葉を掲載し、よりよい表現方法の追求に繋げるとともに、鑑賞の能力を高める工夫をしている。 ○発想を広げる問いかけの言葉があり、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫をしている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の手立て、発想や構想の手掛かりとなる内容を「POINT」として提示し、生徒自ら学習に取り組む態度を養う工夫をしている。 ○多様な生徒作品のイメージや表現から学び、生徒が自分の作品に生かそうとすることができる。 ○問いかけの言葉により、グループで話し合ったり、発表しあったりするコミュニケーション能力の育成を図ることができる題材の設定がある。 <p><よさや美しさなどを味わわせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒作品の「作者の言葉」により、表現と鑑賞活動の一体化が図れ、興味や関心を高めることができる。 ○平面、立体を問わず、歴史的なものから現代の作品まで幅広く美術文化、興味や関心を引く充実した内容。 ○時代を経ても変わることない有名な作品が多く掲載され、伝統を受け継ぐ意識を育む鑑賞の授業に適している。 ○2・3下「光と影の空間演出」などは、心豊かに生活するための能力を身に付けるこれからの美術の題材として、非常に興味を引く内容である。
	<p style="text-align: center;">資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○3冊（1年、2・3年上、2・3年下）の構成で合計ページ数が多く、巻末の材料や用具の扱い方、年表などの資料も豊富である。 ○2・3年上では和紙を使用し、触覚と視覚を働かせて浮世絵の鑑賞を一層深めることができる。 ○A4ワイド判により、ページの構成にゆとりがあり、見やすく分かりやすい。 ○原寸大または大画面で有名な作品をより間近に感じることができる。
	<p style="text-align: center;">表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学びのねらい（4観点）の提示が分かりやすく、学習のてだては「POINT」で示している。 ○「注意しよう」では、安全面から著作権についての注意点まで提示してある。 ○道徳との関わりについても提示し、授業に生かすことができる。
<p style="text-align: center;">総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の規格が大きく、無理なく写真資料がページに収まり見やすさと分かりやすさと資料の豊富さが特徴である。内容も生徒作品から有名作品まで、生徒の興味・関心を引く充実した内容である。また、「学びのねらい」や「POINT」など主体的な学びを支えると共に「自分」「他者」「社会」「自然」の枠組みで整理され、つながりと広がりのある学びが期待できる。 	

項目	書名 新編 新しい保健体育 2 東京書籍	
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領に示された方針に基づき、目標・内容が取り上げられ、小・中・高等学校を通じた学習の系統性を重視している。 ○身近な問題から学習課題を掴ませ、自分の考えを記述させたり、話し合わせたりしながら知識を深めさせる学習展開となっている。 ○学習内容を自分の生活との関わりに視点をあて、生活に生かしていく学習展開となっている。 	
特色	<p style="text-align: center;">特 内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○挿絵や写真を基にし、自分の生活を振り返りながら、学習課題に迫り、学習内容を明確にし、学びの道筋が見える構成になっている。 ○学習内容の理解を深める手段として、「読み物」を活用しながら、単元毎の「考えてみよう」により、学習の定着度を把握したりしながら、実践化への意欲づけを図っている。 ○「学習を振り返ろう」で自己評価ができるようになっている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習活動に「やってみよう」「考えてみよう」「生かそう」を位置付け、事例を提示しながら、考えを出し合ったり、自分の生活を振り返らせたりして、自分の考えを深める展開となっている。 ○章末に「活用の問題」を設定し、習得した知識を活用して考えたり、調べたりすることで、思考力・判断力等の育成が図られている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習活動が「今日の学習・やってみよう・本文・考えてみよう・生かそう」の展開になっており、見通しをもって主体的に進められるようになっている。事例を用いたブレインストーミングなどの学習方法が取り入れられている。 ○「生かそう」「読み物」「発展」などの補足資料、調べ学習に役立つ教育情報が掲載され、興味をもって学べる工夫がなされている。 <p><生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○読み物や章末資料が豊富で、学習内容を広げることができ、運動やスポーツの楽しさや必要性を感じさせる工夫がある。 <p><健康の保持増進のための実践力を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒が生涯にわたって直面するであろう健康問題について考えさせたり、学習したことを自分の生活に生かしたりして、健康的な生活を送るための実践力の育成につながっている。
	<p style="text-align: center;">資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○図や絵などを活用し、視覚的に捉えやすい内容になっている。 ○「クイズ」「生かそう」「読み物」「発展」など、補足資料が充実しており、興味・関心を高める工夫がある。 ○本物を提示するなど写真資料が鮮明で、分かりやすい。 ○学習に関連のある情報やホームページを紹介している。
	<p style="text-align: center;">表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習の課題が明確に提示してある。 ○学習過程に統一性があり、学習の見通しが立てやすい。 ○イラストや写真を効果的に活用し、楽しく学べる構成である。 ○他教科や他の保健学習との関連が記載され、学びを広げている。
<p style="text-align: center;">総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○小・中・高等学校を通じた学習内容の系統性が明記されている。保健編、体育編の内容が学年ごとにまとめられている。 ○課題解決学習への手立てがなされ、学習過程に統一性をもたせながら、基礎的な知識を学び、学びを生活に生かす構成となっている。 ○視覚に訴える資料や挿絵を多用し、興味・関心を高めさせながら、考え・深めさせ、「考えてみよう」により、学習の定着度を確認したり、活用したりする態度を身に付けさせようとしている。 	

項目	書名 新版 中学校保健体育 4 大日本	
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領に示された方針に基づき、目標・内容が取り上げられ、系統的に構成されている。 ○学習課題に迫る気づきを促しながら、身近な問題として学習を進める構成となっている。 ○学習内容を生活に結び付け、活用していく学習展開となっており、学ぶ力を身に付けることを重視している。 	
特色	<p style="text-align: center;">内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習課題を掴ませ、考えたり、話し合ったりする活動を通して、基礎的な知識や技能を身に付けさせようとしている。 ○補助資料や吹き出し、ミニ知識、トピックス等により、学習意欲を喚起させ、理解を深めさせようとしている。 ○「学習の要点」を簡潔にまとめ、生徒自ら振り返り学習ができるようになっている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「考えよう」「トピックス」「学習を活かして」の学習の流れにより、思考や判断を必要とする活動を重視し、自分の考えを深める展開となっている。 ○拡大された資料や吹き出しにより、学習課題を解決するための気づきを高め、思考を深める工夫がなされている。 ○単元の終わりに、章末資料「トピックスプラス」や「発展的な学習」を設け、生活に生かしていこうとする態度を養わせようとしている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元の導入が、課題に気づく、課題を掴む構成になっている。 ○「学習を活かして」や「キーワード」の活用により、主体的に学ぶ構成になっている。 ○情報収集に役立つ情報が紹介され、興味をもって主体的に学習する工夫が感じられる。 <p><生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「トピックス」「ミニ知識」では話題や読み物が豊富に掲載されている。運動やスポーツに興味・関心を高める工夫がある。 <p><健康の保持増進のための実践力を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動やスポーツが体や心に与える効果や運動と健康についてなど、資料やトピックスが豊富で充実した内容である。
	<p style="text-align: center;">資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ワイドな見開き構成で、行動に照らし合わせて考える例示、場面絵や写真を提示し、気づきや考えをまとめやすい構成になっている。 ○専門的な視点からの意見を、吹き出しやコメントで効果的に配置している。 ○欄外に学習に関連のあるホームページを紹介し、調べ学習に活用できる情報が掲載されている。
	<p style="text-align: center;">表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題の提示が分かりやすい。 ○資料や場面絵のコメント表記を変えることで、考える糸口に気づかせ、学習内容をまとめることに役立っている。
<p style="text-align: center;">総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○その章の課題を理解させ、学習の流れが示されており、学習内容の見通しをもてるようにしている。 ○気づきを基に、学習課題を掴み、主体的な活動を促しながら、学習内容を生活に生かす学習展開となっている。 ○体育編、保健編ともに各リンクにおいて相互に関連するページを示し、横断的な学習をするようになっている。 	

書名		保健体育		50 大修館
項目				
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり		<p>○学習指導要領に示された方針に基づき、目標・内容が取り上げられ、系統的に構成されている。</p> <p>○学習課題に迫る気づきを促しながら、身近な問題として学習を進める構成となっている。</p> <p>○書く活動、話し合う活動が単元の最後に設定され、見つめたり、協調したりしながら進められる構成となっている。</p>		
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○単元毎に、中学生が抱く疑問があげられ、学ぶことを大きく掴む構成となっている。</p> <p>○学ぶべき内容をおさえ、補足説明やコラム等により、基本的な知識が身に付くようになっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○単元の終わりに、「活用・発展」、「チャレンジ」などで、自分の考えを書きこませたり、生活を振り返らせたり、考えを深めさせ課題解決できるようにしている。</p> <p>○補助資料の吹き出しにより、内容を読み取りやすい構成となっている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○単元の導入が、質問からはじまり、課題に気づき、見通しをもって主体的に学習できるようになっている。</p> <p>○発展させた資料により、実生活に役立つ課題が多く、興味をもって主体的に学習する工夫が感じられる。</p> <p><生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する工夫></p> <p>○運動やスポーツを実践する際の自分の問題として考えさせる「チャレンジ」コーナーは生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成に役立ち、発展的な学習ができるようになっている。</p> <p><健康の保持増進のための実践力を育成する工夫></p> <p>○学んだ内容を「活用」「実習」「トライ」「チャレンジ」などを設けて、学びを深め、実践力の育成が図られる。</p>		
	資料	<p>○図や表、写真を取り入れ、読み取ってほしいポイントについては、吹き出しで分かりやすくなるようにしている。</p> <p>○理解を深めさせる近年の興味深い情報が「コラム」や「事例」で紹介され、発展学習に繋げる工夫がみられる。</p> <p>○欄外に学習に関連のあるホームページを紹介している。</p>		
	表記・表現	<p>○大切な語句には太字で強調して示され、補足説明により分かりやすい表記になっている。</p> <p>○本文には下地に色が敷かれており、色や大きさを工夫し、見やすいレイアウトになっている。</p> <p>○関連するページを「参照」として紹介している。</p>		
総括		<p>○中学生が抱く疑問を掲げ、自ら学習課題を発見させ、課題解決を通して、実生活に生かせるような工夫がみられる。</p> <p>○イラストなど鮮明で大きく示され、学習の理解力を高める構成となっている。</p> <p>○口絵や解説から、興味・関心を高めるようになっている。</p>		

項目		書名	新 中学校保健体育	224 学研
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり		<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領に準拠した学習内容になっている。 ○学習課題の設定や学習活動の流れを分かりやすく示し、身近な問題として学習の理解を深める展開になるよう工夫している。 ○学習を通して、思考力・判断力・表現力を身に付けさせ、生活に必要な資質や能力を育成しようとしている。 		
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ウォームアップにより、生活を振り返り、資料を基に話し合う活動を取り入れながら学習課題に迫り、学ぶ内容を理解させる構成になっている。 ○補助資料や吹き出し、情報サプリー、「活用しよう」を活用して、学習内容を深める工夫を取り入れている。 ○章末には「章のまとめ」を設け、「用語の確認」、「基礎の完成」、「活用の問題」を行うことで、知識の習得や確認、自己評価をするようになっている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ウォームアップ」「エクササイズ」「活用しよう」の1単位時間の学習の流れにより、自分の考えを書いたり、話し合ったりする活動を意図的に取り入れ、自分の考えを深める学習展開となっている。 ○協働学習や言語活動を含む課題が多く設定され、人との関わりを大切にする学習過程となっている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習課題を、身近な問題として捉えた導入となっている。 ○学習過程が統一され、生徒たちが主体的に学ぶことができる流れになっている。 ○学びを発展させ、生活の中で生かす工夫がみられる。 <p><生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○口絵や写真・イラストが効果的に使われている。また、学習内容に関連した日本の偉人の功績や名言を「ひと」や「スポーツコラム」等で紹介し、章末の「探求しようよ」により学習内容を広げることができ、生涯を通じて運動に親しむ資質や能力の育成に役立っている。 <p><健康の保持増進のための実践力を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○現代の健康課題や題材を豊富に掲載し、資料やコラムでは思春期の心の発達を重視している。また、フローチャート、チェックポイントシートを掲載し、実習を通して理解を深め、実践できる態度の育成が図られる。 		
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○科学的な視点から捉えた資料（図・写真・グラフ）を取り入れたり、客観的な資料により、学習意欲を喚起したりする工夫がみられる。 ○学習内容を生活と結びつけ、コラムなどの発展資料が多い。 ○家庭や地域との関連、詳細な説明、補足情報が多い。 ○学習課題に関連の深い情報やウェブサイトを選り、紹介している。 		
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に合わせたマークを活用し、用語解説や関連情報などのサイド解説や注釈など、資料が色つきで表示され理解しやすい工夫をしている。 ○「活用しよう」のまとめでは、課題を明確に示すことで、わかりやすいまとめとなっている。 		
総括		<ul style="list-style-type: none"> ○章の扉に小・中・高等学校の学習内容の系統性が明記されている。 ○学習内容を明確に示し、見通しをもって学ぶことのできる構成になっている。 ○専門的な科学的資料や発展学習に繋げる資料が多く、学びを生活に生かすことをねらいとしたものとなっている。 ○1単位時間や章を通して、興味・関心を広げたり、振り返りのできる構成となっている。 		

教科（技術・家庭科）

項目	書名 新編 新しい技術・家庭科 技術分野 未来を創る Technology	2 東京書籍
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかわり	<p>○基礎的・基本的な知識・技術が身に付くように考えられ、学習への興味・関心を高め、2年間の学習の見通しをもたせられるような構成になっている。</p> <p>○創意工夫して未来の生活を創造する力が身に付くよう、普段の授業でできる評価・活用の能力を育てることができるようになっている。</p> <p>○社会の課題に関心をもちやすいように、環境や伝統・文化、日本の技術などを取り上げ、工夫・創造することの大切さを伝える学習課題や実習例が引き出せるようにしている。</p>	
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○各編章構成は、1章「知る」仕組みなどに関する知識を学ぶ。2章「作る」学びを生かして、ものづくりや育成を体験する。3章「つながる」技術を評価し、活用する能力を育てる。など、統一した形になっていて活用しやすい。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○問題解決の基本となる、計画、実行、評価・改善（PDCA サイクル）の流れを製作・育成の場面でも統一的に示して課題意識をもって考えたり話し合ったりできる。</p> <p>○手順を写真で構成するなど、円滑に実習ができるよう配慮されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○学習への興味・関心を高め、3年間の学習の見通しがもたせられるようになっていて、技術の大切さや、社会の中で求められる技術など具体的に示されている。</p> <p>○実習例では「問題の発見」を示し、作るきっかけとなる「問題」例を示して、実習を通して、問題解決ができるように配慮されている。</p> <p><実践的・体験的な学習活動を行う工夫></p> <p>○工具の使用法や作業手順などの基礎的な技能をまとめて掲載していて、必要などきに常に振り返ることができるようになっている。</p> <p>○学習を更に深め、科学的な根拠に基づいた理解ができるようダイナミックな写真で、興味・関心を高められるようになっている。</p> <p><技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成する工夫></p> <p>○編末の「学習のまとめ」には「生活に生かそう」を設け、生徒が学習したことを自分自身の生活に生かせるようになっている。</p> <p>○普段の授業から少しずつ評価・活用を繰り返すことにより、技術を評価し活用するための学習活動ができるようになっている。</p>
	資料	<p>○「技術・家庭科の学習を生かす防災手帳」を設け、学習したことを生かした災害への備えや、防災・減災の技術を紹介している。「防災マーク」を付け、意識を高めるよう工夫されている。</p> <p>○「技術の匠」では、さまざまな職業で働く技術者などを紹介し、ものづくりへの興味・関心を高めるとともに、勤労観、職業観の育成を目指している。</p>
	表記・表現	<p>○横の流れで統一させた実習例など、読みやすく、見て分かるように工夫されている。配色及びデザインが目に優しい色合いが使われている。</p> <p>○持続可能な社会の構築を目指して、環境と資源、暮らしの調和の視点から技術を考える内容を掲載している。また、学習のさまざまな場面で、技術と環境を結びつけて考えられるように、「環境マーク」が付けられている。</p>
総括	<p>○基礎技能や実習例には、「ポイント」や「安全」を付し、製作・制作・育成の際に、基礎技能を安全・確実に習得し、活用できるように配列している。</p> <p>○さまざまな職業で働く技術者などを紹介し、ものづくりへの興味・関心を高めるとともに、勤労観、職業観の育成を目指す工夫がある。</p> <p>○学習の目的をしっかりと理解するための「始めの活動」と「まとめの活動」を設けて、学習がより定着できるように配慮されている。</p>	

書名		新技術・家庭 技術分野	6 教育図書
項目			
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○「学びたい」「つくりたい」と思うような製作題材を多く取り入れ、学習内容に関心をもって積極的に関わられるように工夫されている。</p> <p>○生徒が実際に体を動かしたり、話し合ったり、考えたりしながら、実践的・体験的な活動を通して学習に取り組めるようになっている。</p> <p>○環境や伝統、最先端で構成されている技術等を取り上げ、教科書を見ながら実際につくることができるよう、すべての製作工程をていねいに説明されている。</p>		
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○基礎技能・知識の欄を設け、製作題材の写真を大きく載せ、基本となる技術の習得や機器の安全な利用方法を学べるように配慮されている。</p> <p>○実習題材を多く掲載されていて、実際に製作ができるようになっている。特に「材料と加工に関する技術」「生物育成に関する技術」は題材が豊富で興味を引くものが多い。</p> <p><思考力・判断力・表現力等を育成する工夫></p> <p>○実際に体を動かしたり、話し合ったり、考えたりしながら、実践的・体験的な活動を通じた学習ができるようになっている。実習題材は、製作がしやすいよう写真で表現されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○写真や図版を多く用いられていて、教科書を見ながら実際につくることができるよう、すべての製作工程をていねいにわかりやすく表現されている。</p> <p>○巻末資料は、4領域の学習内容で詳しく触れていないが、学習上でも日常的にも参考になる内容を一覧で掲載している。</p> <p><実践的・体験的な学習活動を行う工夫></p> <p>○植物・作物に関する実習題材を多く掲載し、学校の環境に適した題材を選べるよう配慮されている。</p> <p>○学習のポイントごとに「実験」や「実習」といった項目を立てられていて、体験的な学習ができるよう配慮されている。</p> <p><技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成する工夫></p> <p>○製作題材以外にも、「やってみよう」「考えよう」「調べよう」など多くの実験や実習を取り入れ主体的に取り組めるようになっている。</p> <p>○自動ドアや洗濯機といった身近な製品を取り上げることで、生徒が想像しやすいよう工夫されている。</p>	
	資料	<p>○口絵のように大きなイラストから、各領域内での小さな写真・図版まで、中学生が読み取りやすいように工夫されている。</p> <p>○自動車の部品図、製品に使われる材料の例のように、たくさんの部品、材料からなっている等、分かりやすい写真表現になっている。</p> <p>○身のまわりにある製品を安全に使用するために、道具や機器につけられているマークの一例を載せるなど、発展した学習の一助となっている。</p>	
	表記・表現	<p>○適度な余白を取り入れ、デザインを意識したページを取り入れるなど工夫されている。</p> <p>○安全な利用方法について学べるよう工夫、配慮されている。</p> <p>○巻末資料として、授業などで使えるよう参考資料が添付されている。デジタル用語が一覧となっていて分かりやすい。</p>	
総括	<p>○製作題材に「基礎技能」として、使用方法などが学べるように工夫されている。</p> <p>○学習のポイントごとに「実験」「実習」といった項目を立て、体験的な学習ができるよう配慮されている。</p> <p>○各領域のおわりに、「まとめ」「章末問題」を設け、学習した内容をまとめることができ、振り返る学習を重視している。</p>		

書名		技術・家庭（技術分野）	9 開隆堂
項目			
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を豊富に設定し、その活動を通して、生徒が自立して主体的な生活を営むために必要とされる基礎的・基本的な知識および技術を習得できるような構成になっている。</p> <p>○生活上において生じる課題に対して、自分なりに判断をし、工夫・創造して課題を解決することができるようになっている。</p> <p>○社会や環境と技術とのかかわりについて、技術の在り方や活用の仕方などに対して客観的に判断・評価し、主体的に活用できるようになっている。</p>		
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○本文の記述は、基礎・基本と参考・発展等の区分を明確にしている。学習内容の精選と重点化が図られており、理解に必要な内容を的確に記述するようになっている。文体も敬体表記で親しみやすい。</p> <p>○分かりやすい図版・イラスト写真を多数掲載している。描写等が分かりやすく基本となるものを中心に取り上げるなど工夫されている。</p> <p><思考力・判断力・表現力等を習得する工夫></p> <p>○各学習の冒頭に「学習の目標」を記述し、学習の節目には「ふり返し」を設けることにより、反省・自己評価をして学習内容の定着を図ることができるように工夫されている。</p> <p>○各項目のはじめに、考えてみよう・調べてみよう等の思考を深める工夫がある。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○学習の意欲づけや動機づけとして、身近な場面から学習の導入、動機付けがされるなど見通しをもって取り組むことができるようになっている。</p> <p>○「実習例は」基本となるものを中心にし、参考・応用的なものまで多様な例を取り上げ作品作りの時に参考になるよう工夫されている。</p> <p><実践的・体験的な学習活動を行う工夫></p> <p>○各内容の実習例について、工夫し、創造する態度を育めるように、工夫の観点を掲載している。</p> <p>○日本の伝統的な技術について取り上げ、先人への敬意、日本の伝統と文化のすばらしさが理解できるようになっている。</p> <p><技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成する工夫></p> <p>○各内容の最後および全体の学習の最後に、技術を評価し活用できる能力と態度が育成でき学習項目を設定することで、主体的に社会に参画し、その発展に寄与できる態度を養えるようにしている。</p> <p>○環境を保全する技術、自然と共生する技術の考え方を示し、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしている。</p>	
	資料	<p>○レイアウトやデザイン、記述のしかた等、見やすく、わかりやすく、使いやすく学習意欲を高められるものになっている。</p> <p>○実践的・体験的な学習活動や実践例を掲載し、状況に応じた学習活動が選べるように工夫されている。</p> <p>○写真、イラストが効果的に配置されている。</p>	
	表記・表現	<p>○「安全」に関するマークを用いるなど、作業中の事故防止を重視した内容になっている。</p> <p>○4つの内容ごとに統一した配色になっていて、ページの下に豆知識を設け、便利な情報や面白情報などが効果的に入っている。</p>	
	総括	<p>○ページごとに考えが深められるように「参考」が設けられていて主体的に学習できるようになっている。</p> <p>○「ふり返し」の項目が用意され、思考を深められるようになっている。</p> <p>○感謝の気持ち、自分や他者の尊重、男女の平等、家庭や地域への協力などの態度が育めるようになっている。</p>	

<p>項目</p>	<p>書名 新編 新しい技術・家庭 家庭分野</p> <p style="text-align: right;">2 東京書籍</p> <p>自立と共生を目指して</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○学びやすく、基礎的・基本的な知識・技術が身に付く工夫がされている。</p> <p>○自ら問題を見つけ、主体的に解決していく力や学習したことを生活に生かし、創意工夫して未来の生活を創造する力が身に付く工夫がされている。</p> <p>○現代社会の課題に関心を持ち、持続可能な社会の構築を目指す生徒を育てようとする配慮がされている。</p>
<p>特色</p>	<p>内容</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫> ○必ず身に付させたい技能を「基礎技能ページ」にまとめ、技能を確実に習得できるようにしている。また、作る楽しさを感じながら技能の習得ができるように、基礎技能を用いてできる実習例を練習題材として新設している。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○調理実習の始めには完成例の写真と目標を示し、目的意識をもって実習に臨めるようにしている。また、生徒のワークシート例やレポート例を充実させて、表現力が高まるようにしている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○編の導入は見開きで構成し、見通しをもって学習を進めることができる。また、学習活動を促す様々な視点を各種マークで示し、主体的に学習に取り組ませるようになっている。</p> <p><実践的・体験的な学習活動を行う工夫> ○生徒に興味をもって学習に取り組ませるよう、多様な活動例を示している。なかでも家族関係を考える実習例や消費者トラブルへの対処法を考える実習例など、実践的な学習活動ができるように工夫されている。</p> <p><課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育成する工夫> ○全ての学習後に「生活の課題と実践」のページを設けており、実践の流れを「1 課題の発見 2 計画 3 実践 4 振り返り、見直し 5 改善 6 次の課題」と共通した流れで示している。</p>
	<p>資料</p> <p>○本文・イラスト・写真・図表等の配分は適切で、かつ関連をもたせた構成にしている。指導計画等に応じて活用できるよう、図表などの資料が充実している。</p> <p>○関連箇所へのリンク・安全への配慮・今日的な教育課題への対応などに関する学習内容に、オリジナルのリンクマークをつけ、生徒が多様な視点から学習できるように工夫されている。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○各節では、「目標」「始めの活動」「まとめの活動」などを、全見開き同じ位置に配置し、生徒が混乱しないようにしている。また、各編、各章と、「実習例」、「基礎技能」のページの右端に、爪となる色帯を施し、すぐに検索できるようにされている。</p>
<p>総括</p>	<p>○生徒の関心・意欲・態度が高められる工夫がなされ、基礎的・基本的な知識・技術の習得と生活を工夫し創造する能力の育成ができるようバランスよく記述されている。学習内容を習得しやすくするとともに、学習を活用して生活や社会に生かすための工夫が数多くなされ、全体として生きる力が育まれるようになっている。</p>

書名 項目		新技術・家庭 家庭分野 6 教育図書
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的な知識・技術の習得を図るために、「キーワードチェック」で理解度を確かめさせることができる。 ○学んだ知識や技術を生かすために、「生活の課題と実践」では、内容ごとに例示を挙げながら、6ステップで実践させるようにしている。 ○衣食住などの伝統文化について、生活と伝統文化との深い関わりのを理解させた上で、実践させるようになっている。 	
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○基礎的・基本的な知識や技術が身に付くよう、内容を厳選して適切に記述している。また、各節ごとに「学習の目標」や「キーワードチェック」、内容のまとまりごとに「学習のふり返し」を設け、基礎的・基本的事項がわかりやすい構成になっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○生徒同士がともに学び合い、技術・技能とコミュニケーション能力をともに高めていけるように、グループやクラスで話し合ったり、一緒に考えたりできるような実習やワークが充実している。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○キャラクターのつぶやきが、生徒の気付きを促し、自ら考えたり、調べたりする学習のきっかけとなるよう工夫されている。また、生徒が主体的に学習する際のヒントとすることができるように、適宜「参考」や「ポイント」が示されている。</p> <p><実践的・体験的な学習活動を行う工夫></p> <p>○各内容ごとに、話し合い、観察、調査、実験、実習などの実践的・体験的な学習活動が充実している。また、生徒が自分なりの課題をもって取り組める実習題材を多数取り上げている。</p> <p><課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育成する工夫></p> <p>○各内容の学習後に「生活の課題と実践」のページを設けており、見開きで紙面を構成している。ステップ1課題を見つける 2計画を立てる 3実践する 4まとめる・発表する 5ふり返る 6次の実践へつなげる の共通した流れで例示している。生徒目線での吹き出しでは取り組む上でのアドバイスをしている。</p>
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○イラストや写真、図を多く使用し、中学生が効果的に、楽しく学習できる工夫を盛り込んでいることや、子供の手形や食品の原寸大写真、料理の失敗例を掲載するなど、基準になるものを示し、見て納得できるような工夫をしている。 ○実習題材の作品例、応用例などの写真を多く掲載していることや、上の段が図表、下の段が文章説明の構成で一貫されていてわかりやすい資料になっている。
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○中学生の視点を大切にし、簡潔でわかりやすい文章表現になっている。 ○文字の行間に余裕をもたせ、読みやすさに配慮している。また、文字の大きさも適当である。さらに、本文中の重要語句を極太ゴシックで表し、各節のはじめの「キーワードチェック」と照らし合わせることができる。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○中学生の視点を大切にしており、生徒が興味・関心・意欲をもちながら主体的に学習に取り組めるよう、各所に工夫がある。 ○内容の選択・取り扱い・程度・範囲・配列・分量は適切で、教科書の中にワーク、図表・写真資料などが豊富に掲載されており、質と量が充実しており、指導計画に合わせて扱うことができると思われる。 	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>技術・家庭 家庭分野</p> <p style="text-align: right;">9 開隆堂出版</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○基礎的・基本的な知識・技術の習得を図るために、「やってみよう」「話し合ってみよう」等で、あらかじめ考えさせたり、調べさせたりするようになっている。</p> <p>○学んだ知識や技術を生かすようにさせるために「生活の課題と実践」の進め方を具体的に説明し、巻末で例を挙げている。</p> <p>○衣食住などの伝統文化について、「伝統文化」のマークで示して、その伝承の意義を理解させ、実践させるようになっている。</p>
<p>特色</p>	<p>内容</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫> ○各題材とも基礎的・基本的な内容が習得できるように、本文や図表は要点をおさえて丁寧に記述されており効果的である。また、実物大の写真や生徒の目線で撮影された調理実習の手順写真など、理解を促すための工夫がよくなされている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○問題解決型学習における考察、話し合いの課題や、実習等をふり返り、まとめるための課題などの言語活動を充実させている。巻末資料に、そのねらいがよりいっそう定着するための、言語活動の進め方のプロセス図を掲載する工夫がある。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○各学習項目の基礎的な内容を身に付させるために、あらかじめ考えさせたり調べさせたりする課題を提示し、学習への関心・意欲を高めさせる工夫をしている。</p> <p>○学習活動を促す様々な視点を各種マークで分かりやすく示し、主体的に学習に取り組ませるようになっている。</p> <p><実践的・体験的な学習活動を行う工夫> ○実習・製作などの実践的・体験的な学習活動を豊富に設定しており、経験の少ない生徒でも、確実に段階を踏んで、家庭生活でよりよく実践していけるように、丁寧に提示されている。</p> <p><課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育成する工夫> ○家庭生活・地域・社会に関心をもち、自分・自分達で問題をみつけて、解決に努め、生活に生かす力を身に付けるように、全ての内容の各小項目に学習の導入として、生活の具体的な場面を課題として考えることから始める工夫をしている。</p> <p>資料</p> <p>○図表やイラスト・写真は、課題解決のための手がかりとして、また本文内容の理解を助ける資料として、表現・分量・大きさなどが適切である。特に実物大写真はインパクトがあって、学習意欲を図るのに効果的である。</p> <p>○マークや親近感のもてるキャラクターは、生徒が関心・意欲をもって主体的に楽しく学習を進めるのに効果的と思われる。</p> <p>表記・表現</p> <p>○見開きを有効に活用し、本文と参考などの資料との区分も明確で調理実習などでは大きな盛りつけ写真や手順・ポイントがわかりやすくレイアウトされている。</p> <p>○内容のまとめりとともに基本となる色を変え、奇数頁には「爪見出し」を設けて頁を開きやすくする工夫がされている。</p>
<p>総括</p>	<p>○学習の目標、導入課題、本文と展開し、振り返りで自己評価する形を基本とし、問題解決学習への取り組みかたを視覚的・具体的に示している。本文以外にも、参考や探究、発展、またイラスト・写真などで多彩な事例を示し、幅広い教養が身に付くように工夫されている。</p>

<p>項目</p>	<p>書名 New Horizon English Course</p> <p style="text-align: right;">2 東京書籍</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○グローバル化に適応できる日本人育成のために、積極的に世界と繋がろうとする「心」を育てると共に、世界に日本のよさを発信できる生徒を育成するために、伝統や文化に関する題材を豊富に取り上げている。</p> <p>○生徒の自己表現活動が豊富で、「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成」ができる。技能別の練習問題をたくさん取り入れ、4技能がそれぞれ重点化または統合化され、繰り返し学習することで、基礎的な知識・技能を確実に定着できるよう工夫されている。</p>
<p>特色</p> <p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○Unit で基礎の反復練習、Daily Scene で日常のコミュニケーション場面における活用、Presentation で自己表現活動、という3部構成によって、4技能を総合的に育成できる学習の流れとなっている。</p> <p>○Daily Scene は日常によくあるシチュエーションで展開しており、基礎文法の定着を目指している。</p> <p>○まとめでは、文法の要点を整理して示し、確認問題で理解度を図ることができる。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○Presentation は自己表現力と発信力を高める活動が様々な形で取り入れられており、特に段階を追って年に3回スピーチ作成に取り組めるようになっており、統合的な学習を定期的に取り入れ表現力の育成に重点を置く仕組みとなっている。</p> <p>○読み物教材は日本の人や文学作品など取り入れ、その感想を話し合い、文に書く等、発展学習として取り組める仕組みになっている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○学び方コーナーは辞書の使い方、文章のまとめ方など手順や例を用いてわかりやすく自主学習のポイントを説明しており、この教科書の1つの特徴となっている。</p> <p>○題材に震災関係・防災教育・愛国心・伝統文化・グローバル化等を取扱い、実践的な英語を用い、主体的に英語を使ってコミュニケーションの図れる生徒の育成を目指している。</p> <p><聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を育成する工夫></p> <p>○4技能をバランスよく学べ、基本文の定着が図れるよう、分量など工夫している。</p> <p>○年度初めのUnit0 でも前年度の総括的学習としてShow and Tell等の表現活動を取り入れており、前年度までの総合的な力を図るよい機会となっている。</p>
<p>資 料</p>	<p>○巻頭には、1学年は「ことば」、2学年は「学び」、3学年は「かかわり」をテーマにした写真資料がある。</p> <p>○教科書のサイズは横幅が広いサイズになり、資料を大きく掲載し、新出単語は本文の横に配置され、書き込むスペースを作っている。</p> <p>○巻末には Bonus Word Box, Word Room で学びたい語彙や英語表現、日本文化の説明等がカラーイラスト付きで付されている。</p>
<p>表記・表現</p>	<p>○1学年では、Let's Read は活字体を使用し、それ以外はブロック体を使用している。2・3学年でも Tool Box, Daily Scene ではブロック体を使用し、それ以外は活字体を使用している。1学年で各単語にアクセント、2・3学年で発音記号が併記される。また発音記号を使用した音の分類がある。</p> <p>○教科書のサイズが広がり、本文の横に語句が位置付けられている。1学年 Unit5以降、文字が小さくなり、行間も狭くなる。2学年以降さらに文字が小さくなり、Further Reading ではさらに文字が小さく、行間が狭くなり、情報量が増える。</p>
<p>総 括</p>	<p>○Unit, Daily Scene, Presentation の3部構成はわかりやすく、学期に一度の自己表現活動もわかりやすくなっている。また、学び方コーナーも英語学習に必要な手順を抑えており、発信力を高めるためのマニュアルの一部になっている。</p> <p>○Presentation, Daily Scene, Unit0等表現力・発信力を高める活動が増えている。</p> <p>○国際社会、日本の伝統文化に対する理解を深める題材が多くなっている。</p>

<p>項目</p>	<p>書名 SUNSHINE ENGLISH COURSE</p> <p style="text-align: right;">9 開隆堂</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○小学校で学んだことを、1・2学年の教科書には明示し、円滑な接続が図られるよう意図されている。</p> <p>○4技能を総合的に育成する活動が取り入れられており、コミュニケーション能力の基礎を育成できるよう工夫されている。</p> <p>○全学年の巻末に「Can-Do リスト」が添付され、定期的に理解している内容を確認でき、自ら学ぶ意欲を高めるようになっている。</p>
<p>特</p>	<p>内容</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○Program, POWER-UP, My Project の3部から構成され、Program の各セクションの Basic Dialog で基本対話を学び、Listen, Speak, Try で同パターンの基本練習を行い、本文学習後に Write で自己表現力を行わせている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○Program ごとに基礎的技術を4技能別に身に付けさせ、各学期に1回 My Project で統合的に取り組み、よく考え、自分自身の英文を考え、発表することで、実用的コミュニケーション力を養えるようになっている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○新出単語や発音チェックができるようマークが設けられている。「英語のしくみ」でも自身で復習できるようになっている。</p> <p><聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を育成する工夫></p> <p>○各セクションの取組に Listen, Speak, Write 等と目的が明示されており、何を目標とするかわかるようになっている。</p> <p>○Power-Up, 2・3学年 Extensive Reading のコーナーで、4技能を活用して取り組める工夫がなされている。</p>
<p>色</p>	<p>資料</p> <p>○巻頭に本文関連写真がある。各セクションの本文は右に置かれ、新出単語が本文横に置かれている。</p> <p>○巻末には表現活動に活用できる語彙集、英語表現等がカラーで紹介されている。今回全学年で「Can-Do (できること) リスト」が添付されている。さらに、1学年の切り離しできる「アクションカード」、2, 3年生には会話練習用「クイックQ&A」が今回もある。</p>
<p>表記・表現</p>	<p>○1学年では、Program8 My Project まではブロック体で表記し、それ以降は活字体を用いている。2・3学年は本文で活字体、それ以外にブロック体を使用。さらに各学年で、日記・スピーチ・手紙文で手書き風の字体を使用している。また1学年の各単語にアクセント付記、2・3学年で発音記号が併記される。欄外に音声面のアドバイスや不規則動詞の語形変化が記載される。</p> <p>○1学年 Program5 以降、文字が小さくなり、行間を広くした。2学年以降は情報量を増やすため、文字がさらに小さく、行間も狭くなっている。</p>
<p>総括</p>	<p>○構成は、Program で基礎を学び、Power-Up で4技能を活用してバランスよくコミュニケーション能力を高め、さらに My Project で学期のまとめとして学んだことを統合的・発展的に学習し、自己表現力・実践力を身に付けるという構成となっている。</p> <p>○題材は、前回とほぼ同じ話題となっており、外国の日常生活・風俗・習慣・文化について理解を深め尊重する態度を育成すると共に、我が国の伝統文化を見直し、これを外国に発信できる基礎的技能を身に付ける仕組みとなっている。</p> <p>○付録に「Can-Do リスト」が付いたのが大きな進歩である。</p>

書名		TOTAL ENGLISH	11 学校図書
項目			
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○各学年とも4技能の活動のバランスを重視。本文は対話形式が中心で、活動の積み重ねによりコミュニケーション能力の基礎を養うようになっている。</p> <p>○小学校外国語活動との連携を重視し、1学年は一般動詞の導入から始まっているのが大きな特徴である。</p> <p>○日常生活から日本の伝統文化・異文化・環境問題など様々な題材を取り入れ、国際語として英語圏以外での舞台・題材を用いて、国際理解を進める工夫がされている。</p>		
特 色	内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○2つのLessonとProjectで1Chapterを構成し、各学年4つのChapterで成り立つ。前年度の復習としてPre-lessonが置かれる。各Lesson後にReviewが設けられ、4技能を繰り返し定着を図っている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○Lessonの各セクションやActionのListening, Speaking, Writingで習得した基礎的知識・技能を実際に活用して、自分の身の周りのことについて表現活動するChapter Projectが各Chapterの最後に設けられている。</p> <p>○Word Tree, Talking Timeでは日常生活でよく使われる表現やコミュニケーション場面を集中して活動できるようになっている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○各Chapterの最初のページに言語材料や目標が明記され、生徒が見通し・振り返りが図れるようになっている。Lesson後のReview, Chapter Projectで学習を振り返り、Check it Outでは、自分で文法整理や学習のまとめが図れるようになっている。</p> <p><聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を育成する工夫></p> <p>○4技能の育成のセクションにおいて、語彙力の強化を適切に図るため随所にWord Treeを設けている。あるテーマに関して運用度の高い語句を配し、典型的な言語活動場面を通して語彙習得が図れる工夫がされている。</p>	
	資 料	<p>○小学校で慣れ親しんだ、一般動詞(like)から導入することで小学校外国語活動との接続が強化されている。</p> <p>○セクションを見開きページとし、右ページに目標分とそれを習得するためのActivitiesを設けている。</p> <p>○1学年のReadingの点字では、実際にアルファベットの点字に触れることができ、体験的な学習ができる工夫がされている。</p>	
	表記・表現	<p>○1学年では、年間を通してブロック体が使われる。2, 3年では、Talking Time, Action, Word Treeでブロック体、他は活字体が使われる。全学年で、日記・スピーチ・手紙文で手書き風文字を使用。</p> <p>○1学年では新出単語のアクセント記号を、2・3学年では発音記号を併記している。</p> <p>○綴りと発音を関連付けて指導できるよう工夫されている。</p>	
総 括	<p>○年間4つのChapterがあり、見通しとねらいを明示したガイドがあり、まとめとして4技能の統合的学習を行うChapter Projectがあるのが大きな特徴。</p> <p>○国際語としての英語を意識し、題材を英語文化圏のみでなく幅広く他地域からも取り入れ、背景にある文化・社会・生活面にも視野を広げ、理解や共感を深める構造になっている。</p>		

項目	書名 NEW CROWN ENGLISH SERIES 15 三省堂	
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○単元ごとに、4技能を段階的に取り入れた言語活動を通じて基礎を身に付け、統合的に活用できるコミュニケーション能力を養えるようになっている。 ○4技能をバランスよく学習し、実際の使用に即した場面設定や様々な人々との関わりを通して行われる言語活動を取り入れることで、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を目指している。 ○世界の人・言語・文化・自然科学などに対する関心を高め、生徒の発達段階に応じた題材を取り入れながら、自ら思考・判断する力を育成する工夫がなされている。 	
特色	<p style="text-align: center;">内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○Lesson, Let's Listen, Let's Talk の3部で構成。Lesson はGET, USE, に分けられ、GET では段階的に習得させるよう言語活動が設定されている。 ○「Word Bank」「Review」は単元を超えた既習の文法事項や単語を整理して学ぶことができ、生徒の語彙力や応用する力の育成に繋がる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各 Lesson の Get で学んだことを Use-Read (Speak, Write) で力を定着させ、さらに伸ばしたい技能を特化して取り組めるよう工夫している。 ○Project ではインタビュー・スピーチなどの言語活動を通して、既習の言語材料を活用・応用しながら、思考力・表現力を高めるよう工夫されている。 ○Let's talk では身近な場面での会話練習ができる。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○付録の「単語の意味」は各単語の意味・品詞・使い方など内容が充実しており、将来生徒が自ら英和辞典を用いて単語を調べる基本になると期待できる。 ○各 Lesson の最初に「この課で学ぶこと」があり、言語材料や目標を示して生徒が見通しを立てて学ぶことができる。また「文法のまとめ」で、振り返りができるようになっている。 <p><外国語を通じて、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○Let's Listen / Let's Talk / Let's Read では生徒の四技能のバランスの取れた育成が意図されている。特に Let's Listen では、豊富な絵から内容を理解する手助けとなる工夫がされている。また、ディクテーションなど様々な方法を用いて聞き取る力を育成することが意図されている。
	<p style="text-align: center;">資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭には学年ごとにテーマをもつ写真資料がある。教科書の幅が広がり、新出単語が本文横に置かれている。 ○読み物教材の内容が奥深く、読みごたえのある物である。巻末に、「絵でわかる英語の仕組み」「Can-Do リスト」等、付録資料が豊富である。
	<p style="text-align: center;">表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○1年生の Lesson9, Let's Read、2年生の Lesson2, 4, 8 の USE と Let's Read、3年生の Lesson2, 3, 4, 6, 7 の USE と Let's Read, 付録で活字体を使用。それ以外ではブロック体を使用している。各学年共通して、日記やスピーチ、手紙文では手書き風の字体を使用。1年生で各単語にアクセント付記。2, 3年生で発音記号が紫色で併記。 ○1年生 Lesson4 以降文字が小さくなる。他社に比べ文字が細かく情報量が多い。
<p style="text-align: center;">総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各 Lesson で、見通しをもたせる「どびら」、基礎・基本を習得する GET、習得したものを活用する USE、身に付いたことを確認する「まとめ」で構成される。 ○各学年で学期のまとめとして4技能を活用して自己表現能力と発信力を高める Project がある。Let's Talk, Let's Listen, Let's Read ではそれぞれの技能を高める活動を行える。 	

書名		ONE WORLD English Course	17 教育出版
項目			
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○基礎的知識と技術を4技能別の Activity で身に付けさせながら、会話表現や4技能の統合的な活用力を養うように工夫している。</p> <p>○各 Lesson ごとに到達目標が明示され、言語活動の意義を常に理解でき、積極的に取り組む態度を育成するように構成されている。</p> <p>○身近な日常生活のやりとりを中心に、日本の伝統文化から国際理解へと広がる様々な話題・題材を、学習活動と関連させて提示し、英語に対する興味・関心を深めながら、世界と繋がる受信力と世界に向けての発進力を育成する工夫がなされている。</p>		
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○全学年が Unit で構成され、1つの Unit に4つの Lesson がある。セクションが4つあることで、本文の内容（会話の内容）にストーリー性が広がり、生徒も身近なこととして学ぶことができる。</p> <p>○各 Lesson は Hop, Step, Jump の3段階で構成され、Hop では「聞く」「話す」「書く」活動を、Step では「読む」活動を行うようになっている。Jump では、Task で振り返り、Project で統合的な学習に取り組むようになっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○Project や各課に配置されている Task では、既習の文法事項などを活用して自分に置き換えて表現するなどの活動を通して、コミュニケーション能力を高めることのできるよう工夫されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○別冊 Essentials には赤色のマスキングシートが付いていて新出重要単語を意欲的に学ぶことができるよう工夫されている。また PLUS Dialog, Plus Activity では、基本文の定着や発展的な活動が含まれていて習熟度別少人数指導等の場面でも活用が期待できる。</p> <p>○各単元ごとに目標が明示されており、学んだことを実際にどのようにいかしていくのかわかりやすい。また各学年の巻末の Can-Do リストを使うことで、1年間を振り返って自己評価することができる。</p> <p><外国語を通じて、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を育成する工夫></p> <p>○通常の単元において、基本的な4技能を育成するための題材がある。また4技能を、さらに伸ばすことを意図した Tips という単元が配置されている。また Task では4技能を用いたコミュニケーションにおける自己表現の場が設定されており、発表活動などに活用できる。</p>	
	資料	<p>○全体を通してデザインが統一されており、イラストや写真を多用している。各学年の巻末に様々表現活動用の語彙・英語表現等がカラーイラストで紹介されている。1学年ではPCキーボードの運指表あり。全学年に Can-Do 自己チェックリストあり。カラーユニバーサルデザインの配慮が効果的にされている</p> <p>○中学生の興味関心の高い題材が取り上げられており海外文化・名所や日本の伝統文化、生命、平和、福祉などについて考えさせることが期待できる。</p>	
	表記・表現	<p>○1学年の Lesson6 までブロック体、それ以降は活字体を使用。2・3学年では、Tips, Reading, 付録でブロック体を、それ以外は活字体を使用。また日記・スピーチ・手紙文では手書き風の字体。1学年で単語にアクセント付記。2・3学年で発音記号が併記。発音記号を使用した音の分類がある。</p>	
総括	<p>○それぞれの Lesson が2つの Hop, 2つの Step で構成され、Jump 等で活用する3段階構成で、基礎知識・技術を定着させ、さらに Project で統合的な表現活動を行う構成。またさらに応用力、活用力を向上させるため別冊 Essentials が各学年についており、補充学習・宿題等、多様な活用が期待できる。</p>		

項目	書名 Columbus 21 English Course 38 光村図書
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領の目標に準拠した学習目標や学習の具体的な内容、培うべき資質や能力を明示している。 ○日常表現や実際の使用場面・目的に応じた英語を学ぶことで、グローバル時代を生きる生徒たちが英語のコミュニケーション能力をバランスよく身に付けられるようになっている。 ○日本の伝統文化の理解から国際理解につながる幅広い題材を取り上げ、世界とつながるための受信力と世界に飛び立つ発信力を育成する工夫がされている。
特色	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本となる Unit は、本文と Try It!, You Can Do It! で構成され、基本知識を習得しながら活用するための練習をすることができる。 ○Unit 間には、適宜まとめと練習のための教材が配置されており、スパイラル的に基本知識の確認ができるようにしている。さらに各学年に3つの Small Goal があり、学期毎の達成目標を示している。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Unit のまとめの You Can Do It! では、実際の使用場面を想定した言語活動を通して、Unit の到達目標を達成できるようになっている。 ○付録「CLIL 英語で学び、考えよう」では、家庭、社会など他教科の内容の一部を英語で学習することで“英語で学ぶ”体験ができる。 <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○付録 Your Coach では、進度に応じた学習方法の具体例や、英語学習の目的意識を喚起するための解説が掲載されており、モチベーションを保ちながら自律的に学習を継続できるよう配慮している。 ○各 Unit の扉には、到達目標が明示され、題材への関心を高める設問も設けられている。 <p>＜外国語を通じて、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を育成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Try It! を設定し、基本文を4技能のタスクを行いながら定着するようになっている。 ○Go For It! と Let's Read では、自己表現活動と、まとまった分量の英語を読む力を養うことができる。
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさや配置、イラスト等構成されている。新出単語は本文横に配置。 ○巻頭には英語のメッセージとその内容に関わる写真、本文関連写真がある。文法・文構造の理解のために、各学年の巻末付録に英語のしくみを掲載。イラストを多用し、また必要に応じて関連する文法事項を横断的に扱い、知識を統合できるように配慮されている。
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○1 学年では年間を通してブロック体を使用されている。2・3 学年では Skit Time, Go for It! でブロック体を使用され、それ以外では活字体が使用されている。また、各学区年共通して、日記やスピーチ、手紙文では手書き風の字体を使用。1 学年で各単語にアクセント付記、2・3 学年で発音記号が紫色で併記。また発音記号を使用した音の分類がある。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な場面から世界に広がるトピックまで、登場人物の成長を通して、自然な英語に触れながら、生きた言葉の使い方が学べるようになっている。対話文だけでなく、メール、インターネットなど実際によくある場面を設定しているほか、震災や防災に関する題材を扱っており、幅広い教育への配慮がされている。